

笠岡市長から市民の皆様へのメッセージ

本日、本市職員1名の新型コロナウイルス感染症の感染が発表されました。本市職員が新型コロナウイルス感染症に感染した事例は6例目となり、今年に入ってから昨日1月18日（火）に引き続き3例目の発表となります。

本市職員6例目は、笠岡市役所本庁舎2階の農政水産課に勤務する職員です。当該職員は昨日1月18日（火）に発表した本市職員5例目と同じ農政水産課の職員で、本市の判断で1月17日（月）に農政水産課の職員21名、商工観光課の職員1名を対象にPCR検査を実施したところ、1月18日（火）に陽性が確認されました。症状は軽症で、現在は自宅療養中です。

本市職員6例目以外の職員は全員陰性が確認されていますが、岡山県の調査で1名の職員が濃厚接触者であると連絡を受けています。この濃厚接触者の職員1名は本市職員5例目の陽性が確認されて以降、市民との接触はありません。また、現時点において、来庁者に濃厚接触者はいないと連絡を受けています。

なお、本市職員5例目との関連については現段階で判明していません。

農政水産課フロア及び当該職員の往来のあった場所については、既に消毒作業が完了しています。

陰性が確認された農政水産課の職員は本日1月19日（水）から段階的に出勤することとします。今後も感染リスクを減らすため、在宅勤務などを活用し、出勤する職員数を減らして通常どおり業務を継続していきます。

該当職員は日常的に窓口対応を行っている職員ではなく、現時点で来庁者に濃厚接触者はいないと連絡を受けていますが、農政水産課に来庁された方で、発熱や体調不良等がある場合は笠岡市新型コロナウイルス感染症対策本部（0865-69-2222）、岡山県新型コロナウイルス受診相談センター（備中保健所井笠支所：0865-69-1675）又は、かかりつけ医に相談していただくようお願いします。

昨日に引き続き本市職員の感染が確認され、市民の皆さまにはご心配をお掛けしております。本市にあっては、職員のマスク着用や定期的な消毒及び換気、出勤前の検温、職員自身や家族の体調管理などに加え、庁内でのクラスター発生により業務が一時停止することがないように、在宅勤務や時差出勤を実施するなど、引き続き感染防止対策の強化に努めていきます。

また、本日、笠岡市で194例目の新型コロナウイルス感染症の新規感染者が確認されました。本市では9日連続で新規感染者が確認されており、1月に入り既に26名の感染が確認されています。

昨日の全国の新規感染者は3万名を超え、第5波を上回り過去最多となっています。感染状況の悪化から政府は本日、現在の沖縄県、広島県、山口県の3県に加え、東京都、埼

玉県、千葉県、神奈川県、群馬県、新潟県、岐阜県、愛知県、三重県、香川県、長崎県、熊本県、宮崎県の1都12県を「まん延防止等重点措置」に適用することを正式決定する予定です。

岡山県でも5日連続で新規感染者が200名を超えており、県内では学校などでクラスターが頻発し、10代の感染者が顕著に増えています。現時点では重症化しにくい若者中心の感染ですが、爆発的な感染拡大により、高齢者の感染が増加すると、入院する割合が高くなり、医療体制がひっ迫する可能性があるため注意が必要です。

オミクロン株は感染力が従来株より約3倍強いと報告されており、1人でも感染が確認されると、家庭、事業所、学校内などでクラスターが発生する可能性が非常に高くなります。発熱やせき、喉の痛み、倦怠感など少しでも体調が悪い場合、かかりつけ医や岡山県新型コロナウイルス受診相談センター（備中保健所井笠支所：0865-69-1675）に相談してください。

市民の皆さまにおかれましては、一刻も早く感染が収束するよう、これまで同様に感染予防対策の徹底をお願いします。

令和4年1月19日
笠岡市長 小林嘉文